

科目：日文作文

系所組：日本語文學系

【問題】 次の文章は、日本芥川文学賞を受賞した李琴峰エッセイの一部です。文章を読んで次の問いに答えてください。

日本語の中に外来語がたくさん入っていることに気づいたのは、五十音を覚えて間もない頃だった。仮名文字を覚えると、それまでは暗号にしか見えなかった文字列が次々と意味を纏いだし、見たことがない文字の配列でも発音してみると意味が分かってしまうなど、不思議な体験の連続だった。

中国語や韓国語、タイ語を習ったことがなく、文字が読めない人でも、「ニーハオ」「アンニョンハセヨ」「サワディーカー」といった日常的な挨拶ならどこかで聞いたことがあり、意味も分かるのではないだろうか。それと同じで、仮名文字がまだ読めていなかった頃から、「ありがとう」「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」といった日常的な挨拶は音として頭に入っていて、意味も分かっていた。ただ、それらは文字によって固定されていない。宙に浮遊している音に過ぎないので、「アリガド」「オハイヨー」みたいに多くの変種を有していて、頭の中で常にぐらぐら揺れていた。仮名文字を習得すると、曖昧な形で記憶されていたそれらの音がようやく文字に結び付いた。それはふわふわと空に浮いている風船に重りをつけ、地上にしっかり繋ぎとめるような作業だった。地面に繋いで初めて、それは自分の知識、自分の語彙として具体的な形を得ることになる。なるほど、ああいうふうに発音すると思っていたあの表現は本当はこんな音で、こんなふうに記述されるのだ、というふうに。

日常的な挨拶と並んで、発音してみると「ああ、あれか！」と気づくような言葉に、外来語があった。特に英語由来の外来語は、日本語の言葉として学習していなくても発音すると意味が分かるものが多いので、日本から輸入されたお菓子などをスーパーで見かけては、その食品表示欄を細かく読み込み、まるで秘境の暗号を解読しようとする探検家みたいに、意味不明な文字列の中から何とか解読できるパーツを見出そうとしていた。「チョコレート」「ポテトチップス」「ハンバーガー」「ミルク」「アイスクリーム」など、解読可能な言葉を見つけては喜んだ。ああ、英語のあの言葉は日本語ではこんな形になっているんだ、こんな発音になっているんだ、おもしろーっ！というふうに。別に解読できたからといって報酬も賞金もないが、当時の私が感じていたのは純粋な知的喜びだった。

のちになって大学で日本語を専攻することになり、保守的なカリキュラムのせいで日本語を五十音からもう一度やさらされる羽目になったが、初級日本語の授業でこれらの外来語の単語が出てくると、周りの同級生がしきりに日本語での発音を馬鹿にしていたように感じられた。

『アイスクリーム』って wwwwww 何故『ム』をそんなに強調するの wwwwww ウケる wwwwww」

『バーガーキング』って ww バガ www バガ」

という具合に。

英語の音節構造では母音が中心であり、母音の数がそのまま音節数になる。一つの母音の前後に子音がいくつこっついていても一つの音節にしかならないので、子音の発音はそこま

※ 注意：1. 考生須在「彌封答案卷」上作答。

2. 本試題紙空白部份可當稿紙使用，試題須隨答案卷繳回。

3. 考生於作答時可否使用計算機、法典、字典或其他資料或工具，以簡章之規定為準。

科目：日文作文

系所組：日本語文學系

ではっきり発音しない。しかし日本語の音節構造は基本的に「子音+母音」の会音節なので、「m」のような語尾の子音というものは許容されていない。そこで「ウ」という母音を挿入して「ム」とすることで、「ice cream」という言葉はいはば「日本語化」したのである。

「burger king」という単語は、「ice cream」とは別の「日本語化」の過程をたどっている。日本語では「r」の音がないので、英語の「-ur」「-er」の音（どちらも/ar/と発音する）は「アー」で対応する。だから「burger」は「バーガー」になる。また、「king」という単語の発音をそのまま日本語で表記すると「キン」でもいい気がするが、英語の「-n」と「-ng」の違いを反映して、日本語ではそれぞれ「-ン」「-ング」になる。どれもその法則を言語学的にははっきり記述できる、立派な日本語化のプロセスである。

これらの外来語の発音を馬鹿にする同級生たちの態度は、単に出合ったばかりの新しい言語を面白がっていたというより、そこには「道理で日本人は英語が下手なわけだ」「道理で日本人の謝る英語が聞き取りづらいわけだ」といった軽蔑の意図が含まれていたように、私には感じられた。

a 同級生たちの態度に、私は無性に腹が立った。彼らのそうした態度は、ある前提に基づいている——「英語こそが規範なのだ」という命題である。つまりは英語本位主義的な考えである。英語ではice creamだからアイスクリー「ム」と発音するのは滑稽だ、burgerが「バーガー」になるなんておかしい、というふうに。

b そうした見解はそれ自体が批判されるべき狭隘^{きょうあい}な価値観だが、私が感じていた腹立ちはより感情的なものだったのかもしれない。日本語を勉強したての頃の私にとって、それらの「日本語化された英語」の発音は「滑稽」「おかしい」どころか、むしろとても新鮮で、美しく感じられていた。「日本語化」されているからこそ、「チョコレート」「ミルク」「ポテトチップス」は単なる小学校レベルの英単語ではなく、れっきとした日本語の言葉になっている。日本語ができる人が周りに誰もいなかった中学時代、そんな言葉を知っているのは私だけだった。つまりは私だけが持っていた、世にも珍しい真珠なのだ。

李琴峰 (2025)「愛憎入り混じる外来語」『日本語からの祝福 日本語への祝福』朝日新聞社 より

- (1) abで、筆者は腹を立てていますが、それは二つの理由があるようです。何に対して、どんな理由で腹を立てているのかを、本文の内容に従って説明してください。(150字程度) 30%
- (2) 「私だけが持っていた、世にも珍しい真珠なのだ。」という表現について説明し、あなたの考えを文章にしてください。文章を書くときは、以下の①、②の条件を満たして書いてください。(600字以上) 70%
- ① まず「世にも珍しい真珠」とは何か、なぜそのよう表現をするのかを説明してください。
 - ② あなたにとっての「世にも珍しい真珠」があつたらそれを紹介して、なぜ「世にも美しい真珠だ」と思うのかを説明してください。

※ 注意：1. 考生須在「彌封答案卷」上作答。

2. 本試題紙空白部份可當稿紙使用，試題須隨答案卷繳回。

3. 考生於作答時可否使用計算機、法典、字典或其他資料或工具，以簡章之規定為準。